

(別紙)

港湾施設の維持管理等に関する検討会の設置について

1. 目的

高度経済成長期に集中的に整備された港湾施設が、今後、順次更新時期を迎えるが、厳しい財政事情の下、増大が見込まれる維持・改良費用の縮減、平準化が必要不可欠な状況である。

このため、本検討会では、維持・改良費用を縮減・平準化した今後の維持管理等のあり方について検討を行う。

2. 検討項目

- ①港湾施設の今後の維持・改良費用の推計方法
- ②老朽度等に応じた維持・改良手法の導入
- ③維持・改良費用縮減に資する技術開発のあり方
- ④今後の維持管理等のあり方

3. スケジュール案

○第1回検討会 平成24年10月22日(月)

- ・ 検討方針、スケジュール等の確認
- ・ 港湾施設の実態及び今後の維持・改良費用の推計方法

○平成25年11月下旬 第2回検討会

- ・ 維持・改良費用の試算
- ・ 老朽度等に応じた維持・改良手法の導入
- ・ 維持・改良費用縮減に資する技術開発のあり方

○平成25年1月 第3回検討会

- ・ 今後の維持管理等のあり方(取りまとめ)

港湾施設の維持管理等に関する検討会 委員名簿

黒田勝彦 神戸大学名誉教授

小林潔司 京都大学経営管理大学院 経営研究センター長・教授

横田 弘 北海道大学大学院工学研究院 教授

岩波光保 (独)港湾空港技術研究所 構造研究領域長

松原 裕 港湾局計画課長

大脇 崇 港湾局技術企画課長